

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスSora		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 26日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 22 (回答率95.7%)
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 26日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団療育と個別(小集団)療育の総合型プログラムを実践しています。	個別療育は、主担当制を取り入れています。	個別のアセスメント力の向上のため、情報共有をさらに強化していきます。
2	集団プログラムの企画を職員全体で検討しています。	集団プログラムの内容は毎回企画書を作成し、療育の5領域から目的目標を明確にし、PDCAサイクルで評価を重ねてブラッシュアップしています。	集団プログラムの内容や回数が曜日、月間、年間で偏らないよう総括評価も実施していきます。
3	時間、空間、手続きの構造化に取り組んでいます。	5 S活動の中で、療育室全体の空間の構造化は評価して進めていきます。	個々の子どもに合った構造化をさらに検討していきます。
4	職員それぞれの専門性が高く、経験知が豊富です。	療育の内容を多角的に検討しています。事例検討などディスカッションの機会を大切にしています。	ICTを活用した情報共有の効率化を進め、職員間の連携をより円滑にしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)はまだ実施できていません。	研修会等の情報提供は適宜行っています。	家族支援に関しては、今後も個別に対応していきます。
2	放課後児童クラブや児童館との交流が少ないことです。	地域の施設、公園等で地域の子どもと触れ合う時間や機会は設けています。限られた療育の時間の中で、放課後児童クラブや児童館との交流を持つことは現実的に難しいことがあります。	児童館等との交流依頼を継続し、実現可能な範囲で地域との関わりを広げていきます。